

▼QRコード



火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数(7月末日 現在)

- ◆火災 38件【前年比 -13件】
- ◆救急 12,312件【前年比 -1,387件】



裏面につづく

資料提供元(一般社団法人) 日本火災報知機工業会

《 夏こそ注意したい 脳梗塞! 》

夏は汗をたくさんかくので、体内の水分量が不足しがちになります。水分補給を怠ると血液がドロドロになって、血流が悪くなり、やがて**脳梗塞**を発症してしまうことがあります!

脳梗塞は、動脈硬化により脳の血管が詰まったり、コレステロールで血管の内側を塞いだり、心臓の不整脈による血の固まり(血栓)で動脈を塞ぐなどにより発症します。
治療は、血栓を溶解する方法で行いますが、後遺症を残さないためにも、早期発見、早期治療が大切です。

様子がおかしい時は・・・

脳梗塞の前兆「FAST」をチェック!

- ① **Face** (顔) 左右対称か?
- ② **Arm** (腕) 両腕を動かせるか?
- ③ **Speech** (言葉) 会話ができるか?
- ④ **Time** (時間) 発症した時間は?

「脳梗塞の前兆」が認められた場合は、迷わずに119番通報してください。



【睡眠中の脱水に注意して!】

成人は、一晩の睡眠で約500ml(ペットボトル1本分)の汗をかくといわれています。

脱水が原因で発症している脳梗塞の方の多くは、睡眠中や起床後に発生していますので、寝る前や入浴後の水分補給は、特に重要です。

また、高齢者は、のどの渇きを感じにくいので、意識的な水分補給が大切です。

【予防法・水分補給】

- ・経口補水液・ミネラル水・麦茶 ◎ (Best!)
- ・カフェイン入りお茶・コーヒー × (NG)
- ・ビールなどのアルコール類 × (NG)

※利尿作用に注意が必要。

災害発生時の心得

～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

多くの人が一斉に帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険であるほか、救助・救急活動の妨げとなります。

【むやみに移動を開始しない】

- 身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否などを確かめよう。
- 交通情報や被害情報などを入手しよう。

【日ごろから準備しておきたいこと】

- 家族などと安否確認の方法、集合場所、帰宅経路の状況を確認しておこう
- スニーカーや懐中電灯、モバイルバッテリー、手袋、飲料水、食料、マスク、除菌シートなどを用意しよう。
- 携帯ラジオや地図を持ち歩こう。

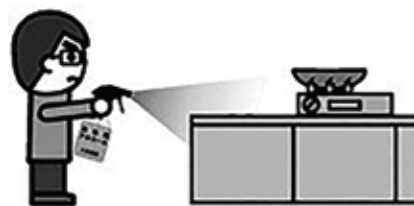
消毒用アルコール 安全に使用してください!

アルコールの特徴を再確認!!

- ・火気に近づけると引火しやすい。
- ・アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く低いところにたまりやすい。

※火気の近くで使用するのは危険!!

※直射日光が当たる場所や高温になる場所に保管するのは危険!



※その他に消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。詰め替え容器に『消毒用アルコール』や『火気厳禁』などと記載してください。落下させたり、衝撃を与えないように注意しましょう。

これからの季節、ご家族でバーベキューなど楽しむ際は、十分にお気を付けてください。

表面からつづく



資料提供元(一般社団法人) 日本火災報知機工業会



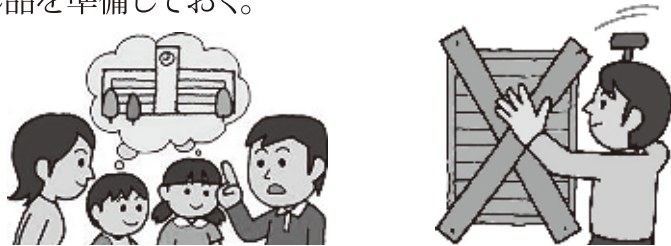
ブザー音の確認は「日本火災報知機工業会」のWebサイトから!

台風への備えはできていますか?

昨年は千葉県内で台風による大きな被害が発生しました。事前にしっかり備え、被害を最小限にとどめましょう。

事前の対策

- 風で飛ばされそうなものは固定し、屋内へ収納できるものは取込む。
- 窓や網戸は鍵をかけ、屋根、壁、塀を点検し、必要に応じて補強する。
- 付近の側溝や排水溝を清掃し、水はけをよくしておく。
- ハザードマップを活用して、洪水や土砂災害の危険がある箇所を把握し、避難場所と避難経路を確認しておく。
- 断水に備えた、飲料水や生活水の確保など、非常持ち出し品を準備しておく。



台風が接近した時は...

避難は早めに行き、大雨や強風による被害を避けましょう。車での避難も道路冠水や視界不良による事故に注意が必要です。海岸周りでは高潮の恐れがあるので、波打ち際や防波堤には近づかないようにしましょう。遠くの避難所へ避難するより、近所の2階建て以上の頑丈な建物に避難するほうが安全な場合もあります。周囲の状況なども総合的に判断し、行動するようにしましょう。

困っている人がいたら 見て見ぬふりは はしない



それは私が “消防団員” だから

あなたも消防団員になりませんか!?

詳しくは次号「こちら119」
“伝えたい消防団員の魅力”で。

火災予防ポスターの募集

消防局では市川市内在学の小学生を対象に火災予防ポスターを募集しています。

Webページ上で消防署見学が出来る「デジタル消防署見学」で勉強したその知識で、是非、火災予防ポスターを描いて学校経由で提出してください。

1 募集テーマ

- (1) 住宅用火災警報器の設置・維持管理に関すること。
- (2) 放火による火災の防止に関すること。
- (3) たばこの不始末による火災の防止に関すること。
- (4) コンロによる火災の防止に関すること。
- (5) タコ足配線等コンセントからの出火に関すること。

2 図案の形態

四つ切サイズ画用紙(縦・横どちらでも可)

3 応募対象者

市川市内の小学校に在学する児童

4 締め切り

令和2年9月7日(月)

5 表彰について

- (1) 最優秀賞 2名 (高学年の部・低学年の部 各1名)
- (2) 優秀賞 2名
- (3) 優良賞 8名
- (4) 敢闘賞 20名
- (5) 努力賞 50名
- (6) 参加賞 応募者全員



「デジタル消防署見学」
はこちらから!

住宅用火災警報器の給付 65歳以上の 高齢者の方が対象です

高齢者の火災への不安に対し、安心して生活できるように、介護福祉課では住宅用火災警報器(熱式と煙式各1個)を給付します。

すでに給付されている方も給付決定日の翌日から5年経過していれば再申請可能です。

【対象者】 居住者全員が65歳以上かつ市民税非課税世帯の世帯主

【費用】 無し

【申請窓口】 介護福祉課(仮本庁舎2階)
※1月以降本庁舎へ移転予定
行徳支所介護福祉相談窓口(行徳支所1階)
高齢者サポートセンター(市内15か所)

【問合せ先】 介護福祉課 TEL 712-8540



○煙式火災警報器

熱よりも回りが速い煙を探知する一般的なタイプの警報器です。
感知方法: 煙式
電 源: 電池(コンセント不要)
取付位置: 寝室などの天井、壁面



○熱式火災警報器

熱を感知して警報します。湯気や煙で作動しないため台所に取付けます。
感知方法: 熱式
電 源: 電池(コンセント不要)
取付位置: 台所周辺の天井、壁面